

私達の手で北の縄文遺跡を世界遺産へ！



北の縄文道民会議

Hokkaido Jomon Culture Promotion Council

会員
募集中



国宝「中空土偶」は3500年の時を越えて 私たちに何を語りかけているのでしょうか？

自然と共生しながら1万年以上続いた縄文文化の大きな特色は、

- 自然の恵みに感謝し、“獲りすぎない”精神を保ち続けたこと
- 狩猟採集で糧を得ながら定住生活を行った世界でも稀な文化であること
- 特に北海道では、縄文の精神がアイヌ文化まで受け継がれたこと
などです。

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群



「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」は、18カ所の遺跡で構成されています。噴火湾を中心とした道南と、津軽海峡をはさむ北東北にあるこれらの縄文遺跡からは、このエリア全体が円筒土器を使うひとつの文化圏だったことや、津軽海峡を「海の道」として人々が交流していたことなどが分かっており、貴重な文化遺産となっています。

世界遺産をめざして

北海道、青森・秋田・岩手県と関係市町は共同で「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録をめざす取組を進めています。2009(平成21)年1月にはユネスコ世界遺産センターの暫定一覧表に正式に記載され、登録に向け積極的な取組を展開しています。世界遺産登録の実現は北海道・北東北の大きな誇りとなり、その魅力を一層高めることにもつながります。ぜひ私たちの手で実現させましょう！

縄文文化の現代的意義

縄文文化がもつ価値とは、大きな構築物を作り出す技術や知識ではなく、自然のなかで人が謙虚に暮らすことにより、生命と文化を共存させた精神性や英知です。持続可能な社会を築いていくことが課題となっている今、私たちが縄文文化から学ぶべきことは、ますます重要性を増しているといえるでしょう。

《入会のご案内》

北の縄文道民会議について

北の縄文道民会議は、2012年4月、より多くの方々に北海道の縄文文化の素晴らしさや魅力を知っていただくとともに、世界遺産登録に向けて機運を盛り上げるなど、道民運動の大きなうねりをつくっていく組織として結成しました。

正式名称：「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議」

略称：「北の縄文道民会議」

代表：堀 達也

副代表：横内 龍三 田岡 克介 石森 秀三

会員特典

- オリジナル会員証のお届け
- Jomon Designポストカード(1枚)プレゼント
- イベントやシンポジウム、講演会などのご案内
- 縄文遺跡関連バスツアーの参加割引
- Jomon Designグッズの会員割引販売 など



主な活動内容

- 北の縄文文化の普及・啓蒙活動
イベントやシンポジウム、講演会等の開催、webサイト等による情報発信、バスツアー等の企画・開催協力、関連グッズの企画・製作協力 など
- 会員の情報交流活動
- 他団体との連携活動



2013年3月2日に第一回シンポジウムを開催

会費について

北の縄文道民会議 会員にお申し込みの方は、以下の会費をお振り込みください。

- ◆ 個人会員様/1年間2,000円
- ◆ 法人会員様/1年間20,000円

《お振り込み先》 北洋銀行 札幌市役所支店 店番号485
普通預金 口座番号: 3213342
口座名: 北の縄文道民会議

道民会議会員のお申し込みは・・・

FAX 011-221-0117 (道民会議事務局)まで

お名前(フリガナ)、ご住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス、会社・役職等を記入していただき、「個人会員」または「法人会員」をご明記の上ファックスしてください。

webサイトからも
お申し込みできます。

<http://www.jomon-do.org/>

北の縄文道民会議 事務局

〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3番地 中央バス札幌ターミナル2F
株式会社シービーツアーズ(北海道中央バスグループ)内
電話:011-221-1122(平日9:00~17:30、土曜9:00~14:00)

北の縄文道民会議 検索

ホームページ <http://www.jomon-do.org/>

フェイスブックページ <http://www.facebook.com/jomondomin>